

12月定例会補正予算審査

一般会計補正予算

◆ 令和6年度高山市一般会計補正予算 第9号

9億8千9百万円

- ・ふるさと納税の寄付額が、当初の想定より増加する見込みであるため、制度運用に必要な関連経費を増額。
- ・私立保育園の令和6年度の保育委託料について、物価高騰等による公定価格の上昇分を増額 など

・主な質疑

問 ふるさと納税の当初寄付額を30億円と想定したが、38億円に増額する見込みの根拠や積算は。

答 令和4年度10月と比較し、96%などこれまでの実績をベースに積算。

問 保育園への入所園児の状況と委託料増額の要因は。

答 昨年度は2,300人で今年度は100人の減少だが、保育単価や物価高騰による公定価格の上昇分。

*その他の補正予算は。

- ・一般会計補正予算第10号など5件は、人事院勧告を踏まえた一般職員、会計年度職員、指定管理の人件費などの給与改定 など

議員発議

◆ 産業廃棄物最終処分場の設置に反対する意見書

～県知事あてに意見書を提出～

H30年に意見書を岐阜県に提出して以降、事業者による地元説明会や県の環境影響評価審査会など、県の条例に基づく審査のステップが進む現状の中、地元の荘川町はもとより富山県の庄川流域の方々との意見交換会や、岐阜大学の久世准教授による地震動の予測・活断層の影響など知見により重ねてきた調査をもとに、あらためて高山市議会の総意として県知事あてに意見書を提出しました。

事業者の姿勢はもとより、気候変動や震度想定、活断層の影響、盛土の安定、地下水の安全など建設計画におけるリスク想定が甘く、住民の不安を払拭できないことなどを大森副知事に直接申し上げた上で意見書を手交したところです。

○意見書の主な内容

- 震 度 想 定 ・岐阜県の統合型GISにおいて「震度6強」の想定地域 ・地震時の揺れの長さによる地盤変化
降 雨 量 の 想 定 ・昨今の気候変動にともなう線状降水帯やゲリラ豪雨 ・浸出水の漏洩リスクや災害のリスク
土砂災害特別警戒区域 ・高さ115mにも及ぶ高盛土 ・凍上と融解を繰り返す寒冷地の地域特性
活 断 層 の 影 響 ・「深層崩壊の恐れがある地域」(国土交通省) ・想定される活断層の影響、地盤のずれや崩れ
・遮水シートに負荷がかかった状態での安全性
水 源 へ の 影 響 ・地下水を含む水源の把握と影響

意見書の原文は
ホームページを参照ください。



◆ 核兵器のない世界をリードするため核兵器禁止条約締結国会議へのオブザーバー参加を求める意見書

意見書の原文は
ホームページを参照ください。



12月定例会の議案賛否一覧

12月定例会の提出議案における各議員の賛否は下記を除き、初日採決した発議第3号、議第97号及び議第98号は全員一致で、最終日採決した議案は欠席した坂下議員を除く全員一致で可決しました。

	丸山	中村	戸田	益田	坂下	平戸	片野	水野	石原	西本	伊東	西田	沼津	榎	山腰	渡辺	岩垣	中茂	倉田	松山	上嶋	車戸	水門	小井戸
	純平	匠郎	柳平	大輔	美千代	芳文	晶子	恵子	正裕	泰輝	寿充	稔	光夫	隆司	恵一	甚一	和彦	博之	博之	篤夫	希代子	明良	義昭	真人
議第100号	○	○	○	○	休	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○
議第125号	○	○	○	○	休	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対。渡辺議長は採決に加わりません。